

2 独国との関係

1056 昭和11年1月9日 在南京松村總領事代理より
広田外務大臣宛
在南京
普通第一二号
昭和十一年一月九日
(1月17日接受)

在南京

總領事代理 松村 基樹〔印〕

外務大臣 廣田 弘毅殿

浙贛鐵路第二期建設公債發行ニ關スル件

鐵道部ニ於テハ客年八月以来浙贛鐵路南昌—萍鄉間建設費
公債發行基金トシテ同部營業收入中ヨリ毎月二十五萬元ヲ
積立テ來リタル次第並同部ニ於テ建設公債ヲ發行シ之ヲ引
當トスル支那銀行團トノ借款及獨乙「オット、ウォルフ」
トノ材料借款ヲ計劃シ居タル次第八客年八月二十六日附普
通第六一六號ヲ以テ報告ニ及ヒ置キタル處其後浙贛鐵路局
理事長曾養甫(現鐵道部次長)ト支那銀行團代表及「オット、
獨、「イラン」ヘ轉電セリ

領「トルキスタン」ヲ經テ歐洲ニ至ル定期航空路ノ計畫ヲ
變更シ波斯、阿富汗、新疆線ヲ計畫中ニテ波斯政府ニ對シ
テハ目下同意取付交渉圓滿ニ進行中ノ由ナルカ何レ當地ニ
於テモ阿富汗政府ニ對シ交渉スルコトトナルヘシトノコト
ナリ

1058 昭和11年6月13日 在独國武者小路(公共)大使より
有田外務大臣宛(電報)
本省 6月14日前着

ベルリン 6月13日後発

獨國商人クラインによる一億ドルの対中クレジット契約が成立したとの情報に關し獨国外務省へ照会について

ウオルフ」駐滬代表トノ間ニ原則的話合纏リタルヲ以テ第
一期鐵路公債及玉萍鐵路公債辦法ニ做ヒ第二期建設公債二
千七百萬元ヲ發行シ銀團及「オット、ウォルフ」ヨリ夫々
八百萬元ヲ借款スルコトニ決定シ鐵道部長張公權ハ右公債
條例草案ヲ客年十二月三十一日ノ行政院會議ニ上提シ同會
議ヲ通過シタルカ一月八日ノ中央政治委員會會議ニ於テ愈々
正式ニ許可セラレタリ

1057 昭和11年5月28日 在アフガニスタン北田(正元)公使より
有田外務大臣宛(電報)
本省 5月29日前着

カブール 5月28日後発
第五〇號
ペルシャ・新疆間定期航空路開設のためドイ
ツがペルシャ政府と交渉中との在アフガニス
タン獨國公使内話について

本日獨逸公使ノ内話ニ依レハ獨逸ハ(多分「ルフトハンザ」
ナルヘシ)嘗テ蘇聯ノ反對ニテ頓挫シタル上海ヨリ新疆蘇
前顯「クライン」カ南京政府トノ間ニ五月半ハ契約セセルモ
ノニテ目的ハ廣西省南部廣東省境ニ近キ「ウォルフラム」
鑛山採掘ノ爲ノ機械設備等ニ使用スルモノラシク「ク」ハ
特定大會社ノ代表者ナラス數年來廣東、上海邊ニ滯在シ居
タル商人ニシテ今次契約モ初メ廣東省政府ト話合ヒタルモ
纏マラス今回右様南京トノ間ニ纏マレルモノナルコトヲ答
ヘ

井上ヨリ一億弗ヲ斯ル個人カ提供スルカ如キハ如何ニモ大
金ニテ何カ獨逸政府筋ノ支持アルニハアラスヤト反問シタ
ルニ對シ極祕トシテ多分工業原料ニ利害關係アル方面ニハ
存スヘシトテ暗ニ經濟省邊ノ支持アルカ如キ口吻ヲ洩ラシ
タル趣ナリ

右ニ對シ井上ヨリ支那ニ對スル外國ノ借款其ノ他カ往々ニ
シテ政治的使途ニ流用セラレ純然タル經濟的援助ニ終リ得
ス東亞ノ安定力トシテノ日本カ此ノ種借款等ニ無關心タリ

⁽¹⁾ 数日前「デイルクセン」大使ハ本使ニ對シ最近獨逸人「ク
ライン」ナル者支那ニ對シ一億弗ノ「クレヂット」ヲ與ヘ
「ウォルフラム」鑛石、落花生等ヲ購入スル契約ヲ爲シタ
ル旨内話シタルニ付十二日井上ヲ「エルドマンスドルフ」

得サルコトハ過去ノ事實ニモ徵シ「エ」公使ノ良ク承知セラル通リナル旨輕ク注意ヲ喚起シタル處「エ」ハ其ノ旨上司ニモ傳ヘ置クヘシト述ヘタル趣ナリ
本件内容更ニ判明次第電報スヘキモ右不取敢英、米、佛、伊ヘ暗送セリ

(カ)ハ物々交換ナラハ獨逸ヘ機械其ノ他支那ニ賣ルヘキ物少カラサルモ支那ヨリ買フ物ハ餘リナカルヘク如何ニスル積リナリヤ疑問ト考ヘ居タル次第ナリ尙近ク來滬ノ筈ナル「カーロウイツツ」ノNolteナル者モ之ニ關係アル筈ナリト言ヒ居タル趣ナリ御参考迄

1059 昭和11年6月19日 在中國若杉臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)

クラインの素性および中独クレジット契約成立の成否に関する情報について

上海 6月19日後発 本省 6月19日夜着

第四六五號(極秘扱)

獨發貴大臣宛電報第一二九號ニ關シ

矢吹ニ旨ヲ含メ夫レトナク「カーン」ニ質サシメタル處「クライン」ナル人物ハ柏林又ハ漢堡邊ノ「プライベート、バンカー」ラシク常ニ影武者トシテ活動シ居ル者ナルカ滿洲トノ協定ノ如キ一億馬克ノ物々交換ヲ計畫シ居タルコトハ承知シ居ルモ既ニ調印セラレタリヤ否ヤハ承知セス自分

1060 昭和11年6月19日 在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛(電報)

クラインによる対中クレジット契約成立を孔祥熙肯定について

南京 6月19日後発 本省 6月19日夜着

第四四五號(極秘扱)

獨發閣下宛電報第一二九號ニ關シ

本十九日孔祥熙ニ對シ「クライン」ノ對支一億弗「クレヂット」設定ノ件ヲ確メタル處孔ハ「キープ」カ満洲國ニ於テ協定シタル前例ニ倣ヒ獨逸カ支那ヨリ輸出スル原料等ノ代價トシテ一億萬弗ヲ前拂スルコトトナレリト答ヘタルニ依リ本官ヨリ獨逸ノ輸入スル原料トハ「ウォルフラム」カ

主タルモノナルヘキヤト尋ネタルニ孔ハ勿論之ヲモ含ム一切ノ輸出品ナリト答ヘタリ
本日吳鼎昌モ同様内話シ居タリ
支ヘ轉電セリ

1061 昭和11年6月20日 在中國武小路大使より 有田外務大臣宛(電報)

クラインの対中クレジット契約は實現性に疑問があるとの獨国外相内話について

ベルリン 6月20日後発 本省 6月21日前着

第三六六號(極秘?)

往電第一二九號ニ關シ

十九日「ノイラート」ト會談ノ際「クライン」ノ對支「クレヂット」說ニ言及シタルニ「ノ」ハ「ク」ハ上海ノ商人ニテ別ニ信用アル人物ニアラス支那ヨリ「オルフラム」等ヲ購入セントスルニ對シ一億弗程度迄右ト引換ニ發電機、軍用機材其ノ他ノ機械類ヲ賣込マント話合シ居ル實狀ナルモ果シテ右商談カ實行シ得ルヤ自分トシテハ疑問視シ居レ

第四九八號(極秘?)

往電第四六五號ニ關シ

1062 昭和11年6月26日 在中國川越大使より 有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット契約の詳細および背後関係に
関する情報について

上海 6月26日後発 本省 6月26日夜着

第三六六號(極秘?)

レヂット」說ニ言及シタルニ「ノ」ハ「ク」ハ上海ノ商人ニテ別ニ信用アル人物ニアラス支那ヨリ「オルフラム」等ヲ購入セントスルニ對シ一億弗程度迄右ト引換ニ發電機、軍用機材其ノ他ノ機械類ヲ賣込マント話合シ居ル實狀ナルモ果シテ右商談カ實行シ得ルヤ自分トシテハ疑問視シ居レ

第四九八號(極秘?)

往電第四六五號ニ關シ
一、同盟ノ松本カ本件ニ關係アル獨逸人筋ニ付確メタル處獨逸ヨリ高射砲、重砲等ヲ供給シ數年後ニ至リ支那產物ヲ以テ之カ決済ヲ爲スモノニシテ(即チ一種ノ「バーター」)ナルモ給付ト反對給付ノ間ニ時間ノ差アリ見方ニ依リテ

ハ「クレジット」トナル)金額ハ一億弗大綱ハ既ニ決定

シ居ルモ此ノ種「バーター」ニ付一番問題トナルヘキハ

單價ノ決定ニシテ目下武器ノ單價決定ヲ協議中ナルカ數

年後ニ供給スヘキ支那產物ノ單價決定ノ如キハ餘程注意

セサレハ支那ニシテ遣ラルル惧アリ(此ノ點獨發貴大臣

宛電報第一三六號中「ノ」カ實現性疑問ト稱シ居ル理由

カトモ考ヘラル)「クライン」ハ眞面目ナル「ビジネス

マン」ニシテ香港、廣東方面ニハ從來種々ノ行動ヲ爲シ

居リ陳濟棠ニ武器工場設備ヲ賣込ミタルコトアリ南京ニ

テ之ヲ氣ニシ居ル爲南京ト今次ノ契約ヲ爲シタルモノナ

ルカ本件ヲ「バツク」シ居ルハ「ゲーリング」乃至國務^(防)

省筋ニシテ最近來滬セル Reichenau 將軍(相當大物ラン

ク同人ニ付テハ陸軍中央ヨリ當地武官ニ監視方訓電アリ

軍側ニ付御聽取ヲ請フ)モ本件ニ關係アル模様ナリトノ

コトナリシ由

二、依テ更ニ二十六日松本ヲシテ獨逸總領事ニ就キ探ラシメタルニ本件ハ柏林ニテ大體ノ話纏マリタルコト「クライ

ン」ト前記「ラ」トハ何レモ二十二日「コンテベルデ」

ニテ來滬シ直ニ赴寧シ歡迎ヲ受ケ居ルコト等ヲ確メ得タ

リ

三、尙本年四月頃ヨリ獨逸品ノ輸入激増シ米、日、英ヲ凌駕セル事實アリ(金曜會「パンフレット」第百七十號參照)獨逸總領事ハ松本ニ對シ獨逸商社ハ支那政府又ハ支那商トス々ノ品物ヲ輸出セハ斯々ノ品物ヲ輸出スヘシト云フカ如キ取引ヲ爲スモノ多ク(本國ノ爲替管理ノ爲ナルヘシ)其ノ結果輸出モ輸入モ激増セル次第ニシテ右ハ一億弗「クレジット」トハ關係ナシ一億弗「クレジット」ハ未タ之ニ依ル取引開始セラレタル譯ニハアラスト述ヘ居タル由(數日前館員ヨリ「ホールバツチ」ニ對シ夫レトナク探り見タルニ「ホ」ハ獨支間ニハ度々從來小口ノ「バーター」様ノ取引行ハレ居ルハ承知シ居ルモ最近大規模ノモノカ成立セル話ハ聞カスト述ヘ居タルカ右獨逸總領事ノ話ト符合ス)

以上一及二ハ當地同盟ヲシテ素ツ破拔カシムルコトニ協議シタルニ付夫迄ハ松本ノ立場モアリ發表セサルコト致度シ

南京、北平、天津へ轉電セリ

1063

昭和11年6月27日

在中國川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット契約の調印者に関する情報について

第四六四號

報について

南京 6月29日後発
本省 6月29日夜着

往電第四四五號ニ關シ

本廿九日本件ニ關シ「マクダニエル」ノ内報スル所左ノ通一、今回本「クレジット」ノ設定ニ依リ獨逸側ノ供給セントスル武器ハ獨逸人顧問ノ専門的見地ヨリ希望シ居ルモノト異ルモノアルヤニテ「ファルケンハウゼン」以下顧問連ハ全然「ネグレクト」セラレタリトテ頗ル憤慨シ居レリ

二、「クライン」ハ蔣介石ノ賓客トシテ當地ニ家ヲ與ヘラレ居リ「ライヒナウ」モ來寧ノ際ハ同家ニ宿泊ス
三、本件ハ獨逸ニテハ蔣ノ代表程天放支那ニテハ「ナチス」黨員タル在上海獨逸總領事ニ於テ專ラ之ニ關與シ黨員タラサル當地獨逸大使館員ハ全然關與シ居ラス又支那外交部モ本件ニ關シテハ何等承知セス

七 中国をめぐる列国との関係

1064

昭和11年6月29日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット契約は蔣介石の個人代表とナ
チス党関係筋のみで協議・調印されたとの情

支へ轉電セリ

1065 昭和11年6月29日 在福州中村總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット協定により精銳の武器を調達
し中國軍を整備するとの蔣介石意向に関する

情報について

福州 6月29日後発 本省 7月1日夜着

第一一六號

獨支武器借款ニ關シ林熊祥カ一十八日本官ニ内話スル所ニ
依レハ四月頃全國經濟建設委員會關係者沈來秋(林ノ義兄
ニシテ獨逸某大學出身)ハ林ニ對シ蔣介石ハ近ク獨逸ヨリ
大借款ヲ起シ最新ノ武器ヲ輸入シ日本軍ニ劣ラサル精銳ノ
武器ヲ以テ支那軍隊ヲ整備スルコトトナリタル旨語リタル
コトアリ當時自分ハ今日ノ支那ニ對シ借款ヲ與フル者ナカ
ルヘシト思ヒ聞流シ置キン處今日ノ同略電報ヲ見テ實ハ驚
キ遲時乍ラ内報ニ來リタルカ右報道ハ當時ノ話ト大体符合
シ居ル趣ナリ

支、北平、在支各總領事、滿、廈門へ轉電セリ

必要ナル今日斯ノ如キ誤解ヲ招クハ嚴ニ避ケ度キニ付大至
急事情探究ノ上必要ノ措置ヲ講スヘキ旨約シタリ尙本使ヨ
リ同局長ヘ東京獨大使館ヘモ本件ヲ詳報シ日本側ト密接聯
絡ヲ取ラルコト獨側トシテ利益ナルヘキ旨説示セルニ同
局長ハ事情ヲ確カメタル上直ニ右様措置スヘキ旨語レリ御
都合ニ依リ「ネーベル」御呼寄ノ上然ルヘク御説示相成リ
テハ如何ト存ス尙獨側ノ行動抑制ノ爲有利ノ資料アラハ成
ルヘク早ク御電報請フ

前電通り轉報セリ

1067 昭和11年7月8日 在独國武者小路大使より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット協定の調印状況および協定内
容に関する独國関係筋からの情報について

ベルリン 7月8日後発

本省 7月9日前着

第一五六號

漢堡江戸總領事カ獨支密約ニ付同地東亞協會關係有力商人
ヨリ内密探査セル所左ノ通

1066 昭和11年7月1日 在獨國武者小路大使より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット契約は日独關係の疎闊などに
利用されるおそれがあるので詳細内容の通報

方獨国外務省へ要請について

ベルリン 7月1日後発 本省 7月2日前着

第一五一號

往電第一五一號ニ關シ(獨對支投資ニ關スル件)

六月三十日「ジツコフ」外務省政務局長ト會談シタル處同
局長ハ同人ノ聞知セル所ハ「ノイラート」外相カ本使ニ話
シタル所ト全然同様ナルモ尙大至急詳細ノ情報ヲ集メ本使
ニ通報スヘク又「ライヘナウ」ハ其ノ弟カ「クライン」ノ
下ニ働キ居ル關係上同官ヲ利用セントシタルモノト考ヘ居
ルモ之亦確カムヘキ旨約セリ次テ本使ヨリ大量ノ武器等ヲ
南京側ニ支給セハ對日工作ノ爲又場合ニ依リ共產軍トノ合
作ニ用ヒラル危険アルコト又南京カ獨支親善關係ヲ誇張
シ日獨關係ノ疎隔ニ利用セントスルコトモアリ得ヘキコト
等ヲ説示シタルニ同局長ハ日獨提携カ何レノ意味ニ於テモ

一、本密約ハ經濟相「シャハト」、陸相「ブロンベルグ」及
支那特派使節(在柏林支那大使參加セス)間ニ柏林ニテ調
印セルモノニテ外務省ハ右ニ全然干與シ居ラス
二、協定文ハ極祕ナルモ獨逸ハ支那ニ outstanding balance 1
億馬克ヲ設定右限度迄「クレヂット」ヲ與ヘ支那ハ獨逸
品買付義務ヲ負ハサルモ獨逸ハ武器賣付(原價約一千五
百萬馬克ヲ高價ニ賣リテ右一億馬克ノ元手ヲ得ヘキ由)
ニ依リ wolfram ore 其ノ他原料品ヲ交換獲得スルコト
ス
三、右取引ハ獨逸陸軍廳 Reichs waffungs amt(主任 Colonel
Thomas)直接武器輸出(當リ支那側ハ南京ニ新設ノ
Central Trust of China 及ニ柏林 Hapto(略號)宛直接原料
輸出ヲ行フ仕組ニト General Reichau (Reichau) ハ獨逸所要原料ノ
種類、數量ヲ調査決定スル要務ヲ帶ヒ居ル由
右輸出入カ全部政府機關ノ直接取引ニテ商人ハ之ニ與ラ
サル爲同地商人ハ不満ニテ最近數回協議セル由聞込モア
リ旁内容ハ相當信憑スルニ足ルト認メラル
尙右出所極祕扱ヲ請フ
支那ヘ轉電ヲ請フ

1068 昭和11年7月9日 在独國武者小路大使より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット協定の内容に関する獨国外務

省政務局長よりの書面回答について

別電 昭和十一年七月九日発在独國武者小路大使より
有田外務大臣宛第一五八号

右書面内容

ベルリン 7月9日後発
本省 7月10日前着

第一五七號

往電第一五二號ニ關シ

九日「ジツコフ」ヨリ大要別電第一五八號ノ通り書面回答
シ來レリ不取敢

前電通り轉報セリ

(別電)

ベルリン 7月9日後発
本省 7月10日前着

第一五八號

1070

昭和11年7月25日 在南京須磨總領事より

右書面内容
アリタリ右不取敢
尚其ノ際前記書面中ノ「建設計畫」ナル字句ニ關シ右ハ獨
逸側ヨリ鐵道、道路、治水等ニ使用スル材料ノ供給ヲモ含
ムモノト了解シ差支ナキヤト尋ネタルニ其ノ通ナリト返答
アリタリ右不取敢

貴電第八〇號ニ關シ

十七日井上同伴外務省政務局長往訪御來示ノ次第然ルヘク
申入レタルニ同局長ハ我方ノ眞意ハ充分諒トスルモ往電第
一五八號同人書面以上ニ内容ノ發表及武器數量等ノ開示ヲ
爲スコトハ關係方面ニテ果シテ之ヲ肯スルヤ否ヤ何レトモ

即答シ兼ヌル旨答ヘタルニ付二國政府間ノ通商條約ノ内容

カ公表セラレサル理由ハ了解ニ苦シム所ニシテ滿獨協定モ
最初梗概丈ヶヲ發表シ支那側ノ疑惑ヲ解キタル例モアリ今
次獨支協定ニ密約等ナキコトニ付一般ノ疑ヲ晴ラスコト望
マシク殊ニ曰獨親善關係ニ鑑ミ此ノ點充分考慮アリ度キ旨
繰返シ說示シタル處同局長ニ於テモ篤ト考慮スヘキ旨約シ
武器内容ニ付テモ關係方面ト話合フヘキ旨語レリ

「クライイン」ノ仲介ニ依リ支那政府ト締結セル獨支經濟協定ノ内容ニ關シ既ニ口頭ニテ申上ケタル點ヲ補足スルニ本

協定ハ原料ト工業製品トノ交換ニ關スルモノニテ其ノ基礎ハ獨逸ノ原料缺乏ニアリ其ノ主タル内容ハ支那中西部ニ實施セラレ原料生産(其ノ中或物ハ今回初メテ開發セラルモノアリ)ニ關スル經濟的建設「プログラム」ヲ本質トス獨逸側供給計畫中ニ武器モ含マルコト真實ナルモ右ハ價格及數量的ニ見テ又支那ノ國力ニ比較シ從屬的ノ地位ヲ占ム本協定ハ純然タル商業的基礎ニテ締結セラレタルモノニテ何等日本ニ鋒先ヲ向クルモノニアラサルコト勿論ナリ

1069 昭和11年7月17日 在独國武者小路大使より
有田外務大臣宛(電報)

**中独クレジット協定に關しさらニ詳細な協定
内容を開示するよう獨国外務省政務局長へ要請について**

ベルリン 7月17日後発
本省 7月18日前着

第一六一號

ベルリン 7月17日後発
本省 7月18日前着

第一五六號

1385

官ヨリ冒頭往電孔祥熙ノ言明ト異ル點ヲ指摘シ本日ノ貴部長ノ言明ヲ其ノ儘政府ニ傳フヘキヤト言ヘルニ張ハ自分ノ言明ニ相違ナシト言ヘルニ付本官ヨリ果シテ然ラハ獨支間ノ契約ヲ發表シテ誤解ヲ解クコト然ルヘシト言ヘルニ張ハ發表方考慮スヘシト答ヘタリ
支へ轉電セリ

1071

昭和11年8月27日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中独クレジット協定におけるバーテー貿易の
資金調達をめぐり蒋介石・孔祥熙間で意見対
立との情報について

南 京 8月27日前発
本 省 8月27日後着

第六一四號

往電第五五一號二關シ

本二十六日例ノ情報ニ依レハ獨支協定ハ貨物ト武器ノ交換トシテ支那ハ自國產棉花ヲ買占メ獨逸ニ供給セントスルモノナル處孔祥熙ハ中國農民銀行ヲシテ右棉花ノ購買資金ヲ

「タンクスステン」鑛ノ購入並ニ黃浦港建設方ニ付會談シタル由ナルカ一方南京政府ハ黃浦開港ニ關シ香港ノ英國「シンジケート」ヲ通シテ一千萬弗ノ公債起債方英國側ニ申込中ナリトノ說アル由御参考迄
北平、在支各總領事、汕頭、香港へ轉電シ上海へ轉報セリ

1073

昭和11年11月27日 在中國川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

日中防共協定締結交渉の斡旋につき民間人を

通じて独国側より打診について

上 海 11月27日後発
本 省 11月27日夜着

第九四四號(極祕)

日獨協定成立カ當地獨逸人筋ニ於テ一般ニ不人氣ナル次第ハ往電第九四〇號所報ノ通ナル處當地同盟松本カ獨逸「トルンス、オーシヤン」極東代表「フュウエルホルツァー」ノ求ニ依リ會談シタル際「フュウエルホルツァー」ハ私案ナリト斷リタル上綏遠事件ノ擴大ハ支那ヲシテ益々蘇聯ニ接近セシムル結果トナルヘク日本ニ不利ナルヲ以テ若シ獨

出資セシメントスルニ對シ蔣介石反對シ中央、中國、交通三銀行ヲシテ購入セシムルコトトセル爲兩者ノ關係相當疎隔シ孔ノ態度頗ル消極的トナリ之カ爲延イテ中央準備銀行ノ設立モ停頓シ居レリトノ說アリ又張公權財政部長トナリ孔祥熙ハ中央銀行總裁タルヘシトノ說モ行ハレ居レリ
支へ轉電セリ

1072

昭和11年10月1日 在中國川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

クライインが広東で蒋介石と会見しタンクスステン購入や黃浦港建設につき交渉したとの情報について

上 海 10月1日後発
本 省 10月1日夜着

第八一三號

諜報ニ依レハ南京政府トノ間ニ一億弗ノ「バーテー」協定ニ成功セル漢堡ノ「ハプロ、シンジケート」極東支配人「ハンスクライイン」ハ客月二十三日離滬廣東ニ於テ蔣介石ニ面會シ主トシテ獨逸ノ將來ニ於ケル「ウォルフラム」及

逸ニ於テ日本ニ對スル好意ヨリ或種ノ調停ヲ爲シ以テ支那ニ於ケル反日風潮ノ高揚ヲ防止スルト共ニ支那ヲシテ日本又ハ日獨ニ對シ共同防共協定ヲ結ハシムル様斡旋スルコトモナラハ獨逸ハ支那ニ對シ或種ノ壓迫ヲ有スル關係上旨ク行クヘシト語リタル趣ナルカ松本ノ得タル印象ニ依レハ同人ノ右提案ハ獨逸官邊ノ意ヲ受ケタルモノノ如ク或ハ獨逸軍事教官カ其ノ地位保全ノ爲ノ一法トシテ持出シタル案ナルヤニモ看取セラレタル由ナリ察スルニ獨逸側ニ於テハ日獨協定ノ支那ニ對スル反響カ意外ニ獨逸側ニ不利ニシテ支那ニ於ケル獨逸人ノ立場ニ不安ヲ感スルニ至リタル爲其ノ彌縫策トシテ斯ノ如キ申出ヲ爲シ來リタルモノカト思料セラル(本件ハ松本ノ申出モアリ發表セラレサル様特ニ注意アリタシ)

満、北平、在支各總領事へ轉電シ上海へ轉報セリ

1074 昭和11年11月30日 在廣東中村總領事より
有田外務大臣宛(電報)

日獨防共協定の成立により日本の対中侵略が激化するとの中国紙論説について

広 東 11月30日後発
本 省 12月1日後着

第五六七號

日獨協定ニ對シ當地漢字紙ハ本協定ノ結果日本ノ對支侵略益々激化スヘシトテ反対シ居レル處主ナル論評左ノ如シ

一、二十七日民國日報ハ日獨協定ハ今回發表セラレタルハ

^(マ)第四項ノミニシテ當然攻守同盟ノ祕約ヲ包含シ居ルヘシ

右成立ノ結果世界ノ大勢ハ「ファシスト」ノ反共戰線即

チ日獨伊ノ侵略陣線ト國際聯盟ニ依ル反侵略陣線即チ英

佛蘇ノ平和陣線トノ對立トナリ大戰前ト同一ノ狀況ニ立

至ルヘシ吾人ハ何レニモ偏セス國家民族ノ生存ノ途ヲ自

力更生ニ求メ日獨協定ニシテ我方ノ利益ヲ妨害センカ之

ヲ否認反対スヘシト論シ

二、越華報ハ二十八日ヨリ三十日ニ亘リテ本協定ハ日本カ中

國侵略上獨逸ヲ利用シ獨逸ハ對佛關係上蘇聯ヲ牽制スル

ニアリ日本ハ獨逸ノ援助ニ依リテ空軍ヲ増大シ極東ノ霸

權ノ確立ヲ見ルヘキモ日蘇關係ハ惡化シ極東ノ不安ヲ招

來スヘシ中國ハ同條約ノ害ヲ蒙ルコト最甚タシキヲ以テ

勢ヒ蘇聯ト同一戰線ニ向フノ可能性アリト論シ

1075 昭和11年12月2日 在中國川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

日中防共協定締結交渉の斡旋打診に対し陸軍武官室の楠本大佐が獨國側と接觸について

上 海 12月2日夜着
本 省 12月2日後発

第九五九號(極祕)
往電第九四四號ニ關シ

松本ハ豫メ賞賛係官ト打合ノ上一日「フューエルホルツァー」ト會見シ松本個人ノ意見トシテ日本當局ハ恐ラク囊ノ御提案ヲ受諾セサルヘシト思ハルトノ意味ヲ申述ヘタル趣ナル

事態カ早急ニ解決セラルコトハ獨逸トシテモ甚夕望ム所ナリ

カ松本ハ更ニ當地陸軍武官室ト本件ニ關シ内密詰合ノ結果楠本武官ニ於テ「フューエルホルツァー」ト會見スルコトトナリ一日同行彼ヲ往訪シタル處席上「フューエルホルツァー」ハ左ノ點高調セル由(其ノ際ハ本件調停案ニ付テハ双方觸レサリシ由)

一、蘇聯ハ中央亞細亞ニ對シ最近特ニ帝國主義的政策ヲ執リ

ツツアリ新疆、外蒙ニ對スル積極的進出ハ其ノ現レト見ラル

二、右ニ付特ニ自分(「フューエルホルツァー」)カ必要ト考フ

ルハ甘肅省ニ支那紅軍ヲシテ蟠踞セシメサルコトナルカ

其ノ一手段トシテ同省内ノ約二百萬近クノ回教徒ヲ反共的ニ組織指導シ且武装セシメ以テ有力ナル反共的團體ヲ組織スルコト必要ナリト考フ

三、蘇聯ノ對新疆政策ノ結果自分カ本夏約二箇月間ニ亘リ甘肅ニアリテ調查シタル所ニ依レハ支那紅軍ハ絕對ニ新疆ニ侵入スルコト能ハサルヘク假令一時的ニ進出スルコトアルトモ間モナク他地方ニ追拂ハルヘシト思考ス

四、獨逸ハ支那及極東ニ付何等軍事的關心ヲ有セシシテ只管通商關係ノ向上ニ意ヲ用ヒ居ル次第ナルヲ以テ日支間ノ

三、三十日ノ廣州市民日報ハ本協定成立ノ爲蘇聯ハ漁業協定調印ノ延期、「サガレン」ノ石油採掘權取消等ヲ以テ日本ニ應酬シタルカ伊太利、澳太利ノ二國ヲ除キ各國共贊成スルモノナク日本國民自身スラ憂慮シ居レリ中國トシテハ反共ハ事實ニ於テ行ヒ居リ日本カ本協定ヲ理由ニ壓迫セハ反侵略陣ヲ強化セサルヘカラスト結ヒタリ

支、北平、在支各總領事、滿ヘ轉電セリ
~~~~~

1076 昭和11年12月22日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

獨國資本による湘黔鐵道(株州・貴陽間)建設借款等の成立について

南 京 12月22日後発  
本 省 12月22日後着

本二十二日ノ新聞ハ鐵道部ト獨商「オットウォルフ」トノ

間ニ今春以來折衝中ナリシ湘黔鐵道築造費三千萬元並ニ平漢鐵道ノ黃河鐵橋修理費一千萬元計四十萬元ノ材料借款契約ハ今般政府ノ認可ヲ經テ正式調印ヲ了セルカ右借款八年利六分トシ償還期限ヲ前者ハ十箇年後者ハ十二箇年ト定メ擔保ニハ將來ニ於ケル同鐵道ノ財產及收入ヲ充當シ居ル旨報道スルト共ニ右ト略同様ナル趣旨ノ海通社・伯林電ヲ掲載シ居レリ

支、廣東へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

1077 昭和12年6月15日 在独國武者小路大使より  
広田外務大臣宛(電報)

獨國での孔祥熙活動に關し日本と中國を秤に  
かけるようなことはせず一切の情報を日本側  
へ通報する旨獨國航空大臣言明について

ベルリン 6月15日後発  
本省 6月16日前着

第一九二號

1078 昭和12年6月16日 在中國日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

中獨航空連絡の準備状況に關する在中國獨國

南 京 6月16日後発  
本省 6月16日夜着

第四一九號

上海發貴大臣宛電報第三七〇號末段ニ關シ

往電第一九〇號ニ關シ

其ノ後大島武官「ゲーリング」ニ面會ノ機會アリタルニ付爲念右往電ノ趣旨ニ依リ「ゲ」ニモ申入レシメ置キタルカ其ノ際「ゲ」ハ孔ノ使命ニ關シテハ未タ何等承知シ居ラサルモ獨トシテハ日獨ノ政治的關係ト日支ノ經濟的關係トヲ同一ノ秤ニ掛クルカ如キコト絕對ニナシ今後孔ニ關スル情報ヲ得タル節ハ一切内報スヘシト述ヘタル趣ナリ

尙當地一般ニハ孔ハ支那軍建設ノ爲獨逸飛行機購入(同人ハ數日前「ウンカー」ノ工場ヲ視察セリ)及飛行將校招聘ノ目的ヲ有シ居ルヤニ取沙汰セラレ居レリ

1079 昭和12年6月19日 在獨國武者小路大使より  
広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙との談話内容に關する獨國外務次官の

十六日獨逸大使館「フィツシャー」參事官ニ對シ歐亞航空乃至「ルフトハンザ」ノ獨支間飛行ニ付確メ見タル處「フイ」ハ自分先般賜暇歸朝ヨリ歸任前柏林ニ於テ「ルフトハンザ」ノ「ガブレンツ」(「チーフ・パイロット」トシテ先年支那ニ飛來セルコトアリ)カ内話シタル所ニ依レハ歐亞航空公司用トシテ大型飛行機一臺ヲ既ニ南方經路ニ依リ回航濟ナルカ更ニ一臺ハ此ノ機會ニ航空路ヲ下踏スル意味ニテ雅典、「チラン」、「カブール」、蘭州ノ「ルート」ニ依リ回送スルコトヲ計畫シ居ル處「カブール」、蘭州間ノ長距離無着陸飛行ニハ相當ノ技術的困難アル爲目下内密準備中ナルカ八月頃ニハ実施ノ運トナルヘシトノ趣ナリト内話セリ(尙「フィ」ハ本年三月三十日附亞一機密第二五號)  
歐亞航空聯絡ニ關スル日獨間話合ニ付テハ「インフォーム」セラレ居ラサルヤニ見受ケラレタリ)御参考迄  
北平、上海、天津へ轉電セリ

第一九八號  
往電第一九二號ニ關シ  
十八日求ニ依リ外務次官ヲ往訪セル處孔ノ行動ニ付左ノ通内話セリ  
一、孔ハ防共協定ニ依リ日本カ支那内政ニ干渉スル惧アリト  
シ種々質問ヲ同次官ニ(大臣ハ猶「バルカン」旅行中)試ミタル由ナルカ次官ハ右協定ノ目的ハ日獨共同シテ共產運動ニ依ル各自國ノ危險ヲ防衛センカ爲同運動ニ對シ警告ヲ與フルニアル旨然ルヘク説明シ置キタル由

三、次テ孔ハ獨逸ヨリ南支ノ鐵道建築材料、中支礦山用及製鐵用ノ機械類ヲ支那ノ原料品ト交換的ニ入手シ度キ旨述ヘタルモ未タ具體案ニハ入ラサリシ由

尙右ニ關聯シ次官ハ支那ノ供給シ得ル原料品ニ付テハ更ニ研究ノ要アルモ獨逸トシテハ原料難ニ苦シム今日資金ノ流出ナシニ必要ノ原料ヲ求メ得ル支那トノ貿易カ相當重要ナル旨辯疏シ居タリ本使ハ先般ノ如ク軍需品ノ供給ナキヤヲ尋ネタルニ次官ハ自分トノ會談中ニハ全然右ニ觸レサリシ由答ヘタリ(尙後日此ノ點精探スヘシ)

又孔ハ「亘渡米シ再ヒ來獨ノ上「ノーハイム」ニテ心臓ノ治療ヲ爲スヤモ知レスト語リ居リタル由ナリ

尙孔ハ「ゲーリング」、「シャハト」トノ會談中ニモ日獨離間ヲ試ミタルモノノ如シ

在歐各大使(土ヲ除ク)、米ヘ暗送セリ

(付記一)

ベルリン 9月30日後発  
本 省 10月1日前着

第四〇三號

(付記二)  
プリュッセル 10月1日後発  
本 省 10月2日前着  
第一七二號  
本使發獨逸宛電報

第八號  
諜報者ノ報告ニ依レハ去ル六月孔祥熙カ貴地ニ赴キタル際

獨逸政府トノ間ニ左ノ如キ祕密協定成立シ其ノ結果支那側ハ大量ノ軍用品ノ註文ヲ發シ右積出ハ漢堡(四字アキ)ノ汽船四隻ヲ用ヒ南米ノ一國ノ國旗ヲ掲ケテ支那ニ向ヒタル趣ナ

リ右ハ果シテ信憑シ得ルヤ否ヤ疑問ナルモ不取敢當方聞込ノ儘

(一)獨逸ハ支那ニ對シ如何ナル軍需品ヲモ供給スヘシ尤モ獨逸船ニハ積込マサルコト

(二)武器ノ操縱ニ必要ナル「パイロット」、技師、機關士等ヲモ供給スヘシ

(三)特ニ海軍ニ必要ナル専門士官ヲ供給ス

(四)海軍ニ必要ナル一切ノ器材ヲ供給ス

尙右協定成立ニ立會ヒタル獨逸側代表者ハ(數文字分アキ)

ノ由

大臣ヘ轉電セリ

漢堡ヘ轉電アリタシ

~~~~~

1080 昭和12年7月17日 在中國川越大使より
広田外務大臣宛(電報)

北京、上海、滿ヘ轉電セリ

~~~~~

在中国獨國參事官は歐亞航空連絡交渉の進捗  
状況は承知しているが日滿獨航空連絡協定は

聞知していない旨報告

南京 7月17日後発  
本 省 7月18日前着

第五三三號

貴電合第四五三號ニ關シ(日滿獨航空連絡ニ關スル件)

十六日獨逸參事官ノ日高ニ語ル所ニ依レハ歐亞航空連絡問

題ハ一切在上海「ルフトハンザ」在支代表者「ポルツ」

(歐亞航空公司副經理)ニ於テ取扱ヒ居リ自分ハ同人ヨリ時々

通報ニ接シ居リ支那政府トノ交渉ハ同公司ニテ引受ケ既ニ

許可取付濟ナルコトヲ知リ居レリト

尙日滿獨協定ニ關シテハ同人ハ承知シ居ラサルヤノ印象ヲ

深メタリ(貴電第一一四號御參照)(不在)

北京、上海、滿ヘ轉電セリ

~~~~~

孔財政部長ハ其ノ後杳トシテ消息傳ハラサリシカ三十日當地新聞報ニ依レハ同人ハ目下伊國船「ビクトリア」號ニテ歸國ノ途ニアリ船中ヨリ在柏林經濟研究協會宛禮電ヲ寄越シ來レル趣ナリ尙同船ハ十月六日古倫母、十日新嘉坡、十三日馬尼刺、十五日香港、十七日上海寄港ノ筈ナリ

當國ニ於テハ孔ハ累次電報ノ通り會見ニ日ヲ費シタル以外何等效果ヲ舉ケ得サリシモノノ如シ

古倫母、新嘉坡、馬尼刺、香港、上海ヘ轉電セリ

地新報ニ依レハ同人ハ目下伊國船「ビクトリア」號ニテ歸國ノ途ニアリ船中ヨリ在柏林經濟研究協會宛禮電ヲ寄越シ來レル趣ナリ尙同船ハ十月六日古倫母、十日新嘉坡、十三日馬尼刺、十五日香港、十七日上海寄港ノ筈ナリ